

各 位

株式会社 東北銀行

## 「地域密着型金融の取組み状況～金融仲介機能のベンチマーク (平成 29 年 3 月末基準)～」の公表について

株式会社東北銀行（取締役頭取 村上 尚登）は、「地域密着型金融の取組み状況～金融仲介機能のベンチマーク（平成 29 年 3 月末基準）～」を公表いたしましたので、お知らせいたします。

当行は、「地域金融機関として地域社会の発展に尽くし共に栄える」を経営理念とし、中小企業支援に向けて金融仲介機能を発揮していく事により、地域とともに成長することを目指しております。平成 28 年 4 月よりスタートした中期経営計画においても「“地域力の向上”～地域の中小事業者の企業価値向上をお手伝いします～」をテーマとして掲げ、地域の活性化につながるお客様の発展・成長に向けた支援に取り組んでおります。

これらの取組みについて、本年度からは平成 28 年 9 月に金融庁より公表された「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、公表することといたしました。

当行では、今後も経営理念・中期経営計画の実現に向けてベンチマークを活用し、お客様のニーズや課題解決につながる融資支援・本業支援などに積極的に取り組み、「地域力の向上」に努めてまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部（担当：齋藤）

TEL: 019-651-6161 (内線: 3203)

 **東北銀行**

〒020-0023 盛岡市内丸 3 番 1 号

電話番号 019-651-6161

F A X 019-653-1291

ホームページ <http://www.tohoku-bank.co.jp>

# 地域密着型金融の取組み状況

～金融仲介機能のベンチマーク（平成29年3月末基準）～

平成29年7月31日

 東北銀行

---

当行では、『地域金融機関として地域社会の発展に尽くし共に栄える』を経営理念として掲げ、平成28年4月から新中期経営計画をスタートさせております。

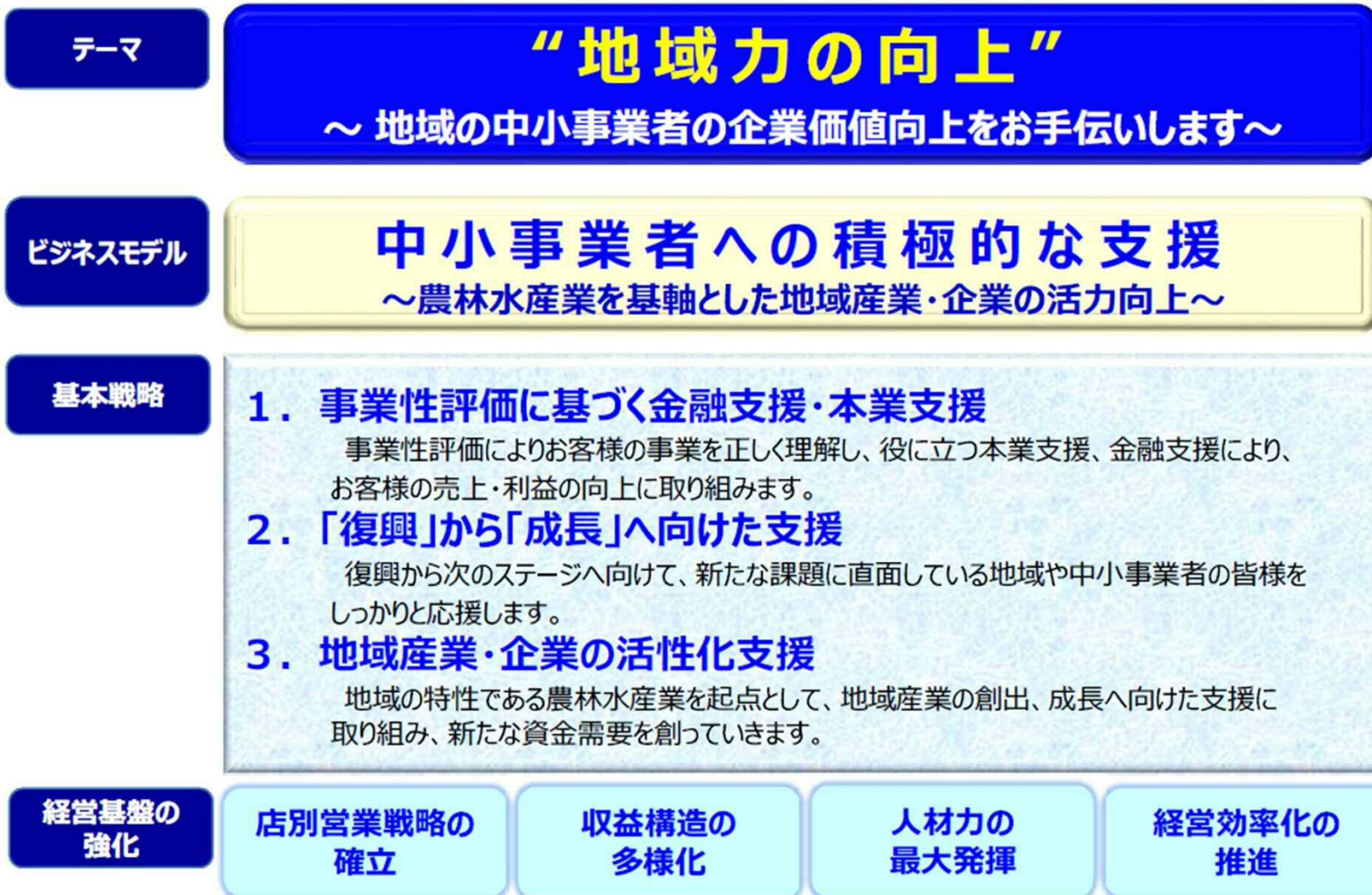
地域密着型金融につきましては、中期経営計画と目指すべき方向性が同じであり、中期経営計画を着実に実行することで、地域密着型金融を更に深化させてまいります。

### 地域密着型金融の推進

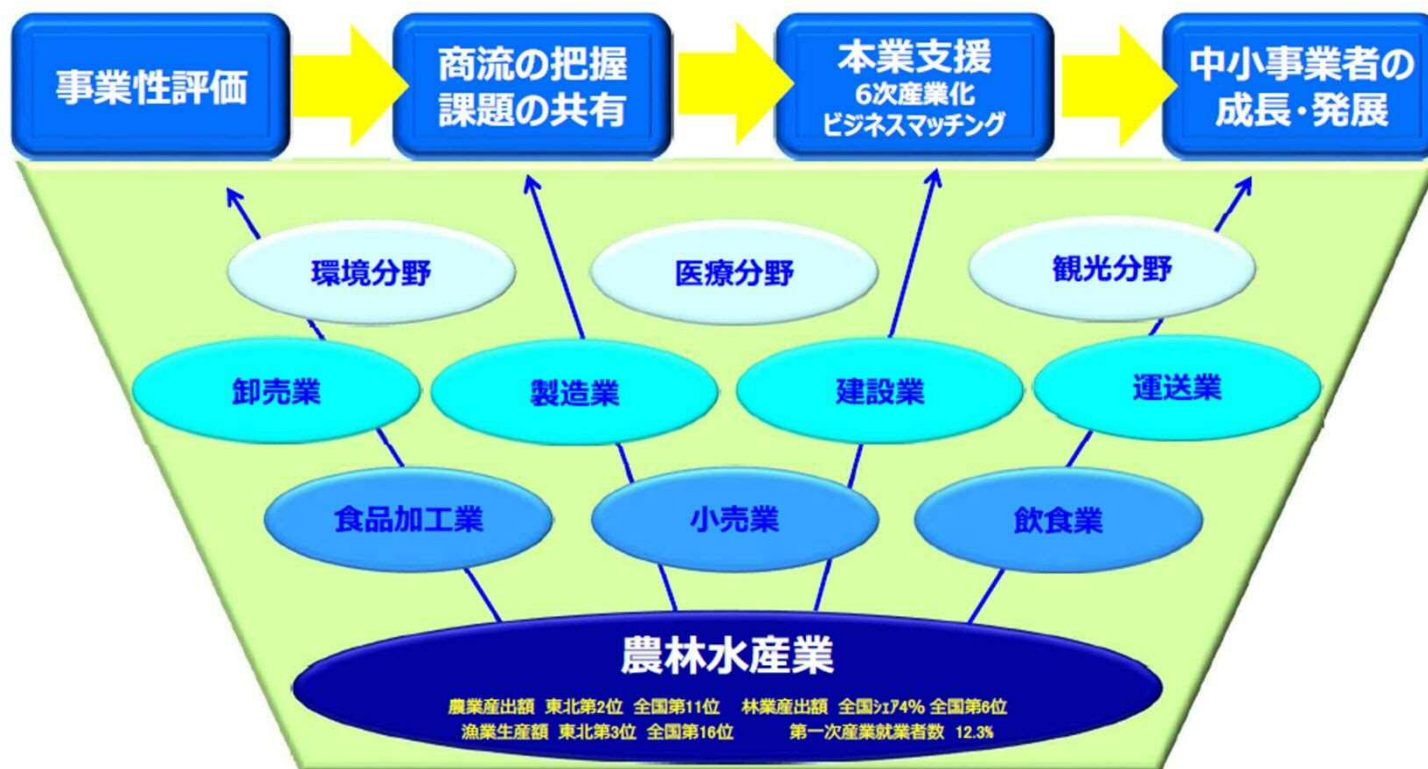
- 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- 地域の面的再生への積極的な参画
- 地域や利用者に対する積極的な情報発信

これまで、当行は「地域密着型金融の取組み状況」を継続的に公表してまいりましたが、本年度からは金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標である「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、地域密着型金融の取組みを公表することといたしました。

今後も「金融仲介機能のベンチマーク」を活用することで、金融仲介機能の質の向上に努め、お客様のニーズや課題解決につながる融資支援・本業支援を積極的に進めてまいります。



農林水産業を起点とした地域産業・企業の活力向上を目指し、事業性評価を浸透させ、お客様の理解や課題の抽出・共有に努め、ソリューション営業を実践することで、地域の中小事業者への積極的な支援に努めてまいります。

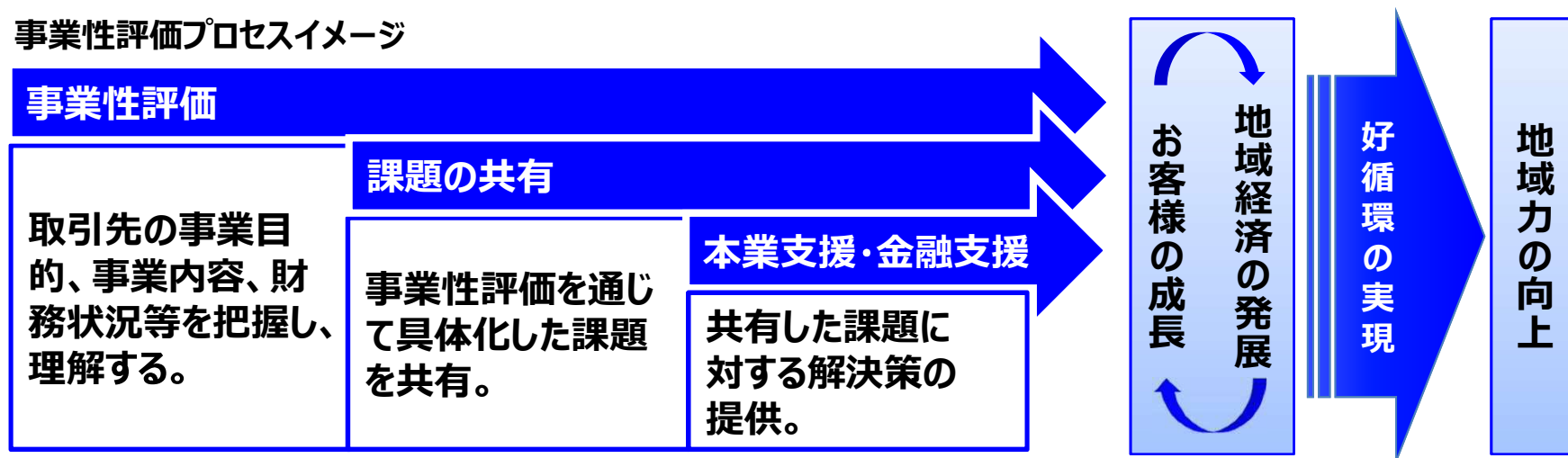


# 1.事業性評価に基づく金融支援・本業支援

## 事業性評価に基づく融資の取組み状況

当行は、事業性評価を行うことによって、事業の内容や成長可能性を適切に評価し、経営ビジョンの共有、経営課題の把握をすることで、お客様にとって最適な商品・サービスの提供に努めてまいります。

### 事業性評価プロセスイメージ



ベンチマーク (共通5)		H28/3期	H29/3期
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数及び融資残高、及び、全与 信先数及び融資残高に占める割合	先数及び 全与信先数に占める割合	378先 (5.2%)	805先 (11.3%)
	融資残高及び 全与信先の融資残高に占める割合	628億円 (15.2%)	909億円 (21.7%)

事業性評価先は前期比で先数427先、融資残高281億円増加しております。

# 1.事業性評価に基づく金融支援・本業支援

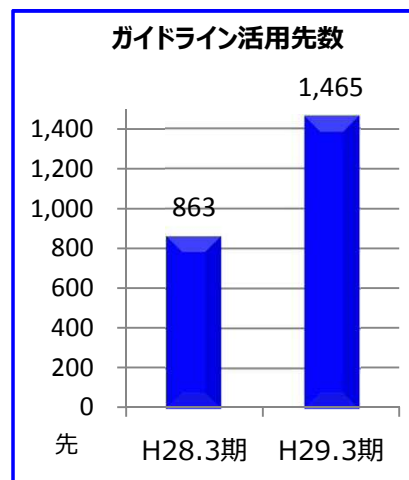
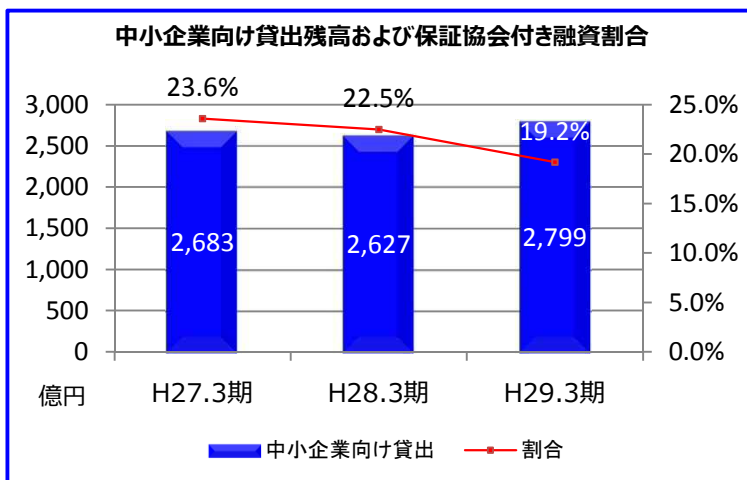
## 担保・保証に必要以上に依存しない融資への取組み状況

当行では、担保・保証に必要以上に依存しない融資に取り組んでおります。経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組むため、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証の必要性について検討するとともに、保証契約の締結や保証債務の整理について誠実に対応してまいります。

ベンチマーク（選択10） H29/3期	中小企業向け融資残高	保証協会付き融資残高	100%保証付き融資残高
中小企業向け融資のうち、信用保証協会付き融資額の割合及び100%保証付き融資額の割合	2,799億円	538億円	535億円
	上記に占める割合	19.2%	19.1%

ベンチマーク（選択11） H29/3期	全与信先数	ガイドライン活用先数
経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合	7,120先	1,465先
	上記に占める割合	20.6%



中小事業者への支援に積極的に取り組んだ結果として、中小企業向け貸出残高は前期比172億円増加いたしました。

「経営者保証に関するガイドライン」の活用先数は増加傾向となっております。引き続き、経営者保証につきましても誠実な対応に努め、ニーズに合致した金融サービスの提供に取り組んでまいります。

# 1.事業性評価に基づく金融支援・本業支援

## 事業性評価に基づくソリューション提案の取組み

当行では、お客様のさらなる成長、発展へ向けて、各種ソリューションのご提案を行っております。各種商談会やビジネスマッチング企画を通じ、様々なニーズに対応したビジネスマッチングに取り組んでいます。

ベンチマーク（選択14） 29/3期	全取引先	ソリューション提案先	割合
ソリューション提案先数、及び、同先の全取引先数に占める割合	6,407先	725先	11.3%
ソリューション提案先の融資残高、及び、同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	4,184億円	564億円	13.5%

ソリューション提案…単に商品・サービスを提案するだけでなく、事業承継や販路拡大等、お客様の抱える課題解決へ向けて商品・サービスの提案を行うこと。

ベンチマーク（選択21） H29/3期	先数
事業承継支援先数	26先
ベンチマーク（選択18） H29/3期	先数
販路・仕入先開拓支援を行った先	75先

事業承継、販路拡大支援をはじめとして、今後も各種ソリューションメニューを充実させることで、事業者の課題解決に取り組んでまいります。

### 「とうぎん×JR-TSS とうぎんマルシェ」

当行では、平成27年からJR盛岡駅構内において「とうぎんマルシェ」を定期的に開催しております。地域の食品関連事業者に駅ナカでの販売機会の提供を目的として、これまで3回開催しております。商品の知名度アップのほか、出店者同士や駅構内の各店舗とのビジネスマッチングにも繋がる等、販路拡大にも貢献する取組みとなっております。





# 1.事業性評価に基づく金融支援・本業支援

## ミドルリスク先に対する取組み

当行では、従来の発想では融資対応が難しい事業者の皆様に対しましても、事業性評価に基づき、成長可能性等の適正な評価を行うことで、積極的な資金供給を推進しております。

ベンチマーク (独自)	H27/3期	H28/3期	H29/3期
ミドルリスク先に対する融資実行金額	587億円	658億円	716億円

※ミドルリスク先とは…本ベンチマークでは自己査定における債務者区分が要注意先に区分される先及び正常先下位に位置している先をミドルリスク先として定義。

ベンチマーク (独自) H29/3期	先数	金額
債権買取先等に対する再チャレンジ支援	3先	3億円

※ 再チャレンジ支援とは…リファイナンス等による震災支援機構や産業復興機構および、民間ファンド等からのExit支援件数。

### 機構買取債権の一括返済による事業再生完了支援事例

お客様は、主に岩手県内を営業エリアとする岩手県内陸部の土木工事業者です。東日本大震災の影響により、仕掛工事の延期や中止が発生し一定期間休業を余儀なくされる等、施工体制を大きく毀損する事となりました。その結果、既存借入金の償還にも支障を来たすこととなり、東日本大震災事業者再生支援機構の支援を受け事業再生を図りました。

その後、復興需要等もあり業績は改善し、モニタリングの中で事業者よりリファイナンスによる機構への一括返済の相談を受けました。当行では、事業性評価による当社の適切な評価を行ったうえで、メイン銀行としてリファイナンス資金に対応し、買取債権について機構へ一括返済を行い、事業再生が完了した支援の事例となっております。

ミドルリスク先に対する融資実行金額は増加傾向となっており、取組みの成果が数字に表れてきたものと捉えております。当行では、ミドルリスク先を狭義な枠に収めることなく、再チャレンジ支援についてもミドルリスク先支援の一環として取り組むことで、地域の中小事業者の成長、地域経済の発展に貢献してまいります。

## 2.「復興」から「成長」へ向けた支援

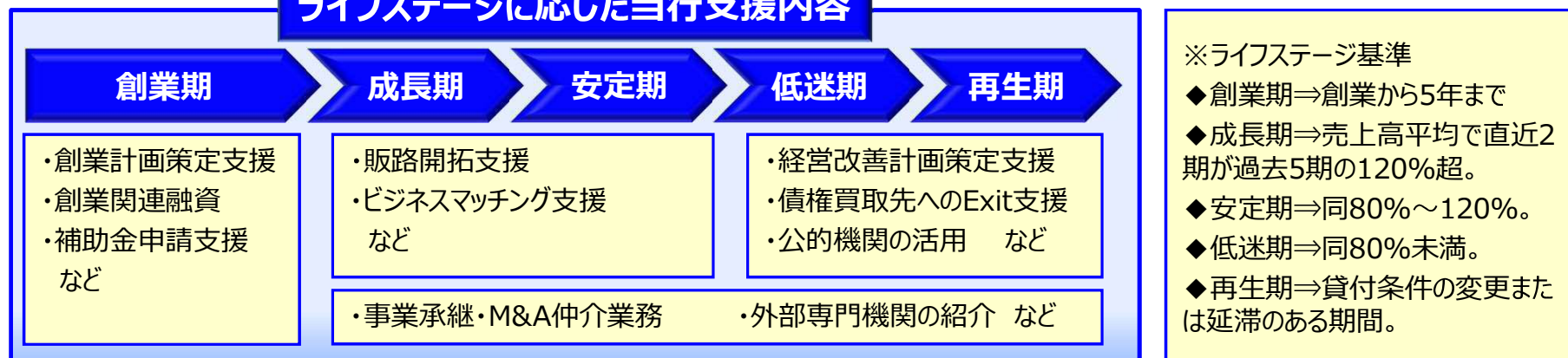
### ライフステージに応じた支援について

当行は復興から次のステージへ向けて、新たな課題に直面している地域や中小事業者の皆様をしっかりと応援します。被災地域においては、地域間や業種間によって様々な格差が見受けられる状況も継続しています。様々なライフステージにあるお客様の課題・ニーズを適切に把握したうえで、お客様へ最適な支援を供給してまいります。

ベンチマーク（共通4）H29/3期	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	7,120先	297先	955先	3,439先	190先	592先
ライフステージ別の与信先数に係る事業年度末の融資残高	4,184億円	152億円	436億円	1,572億円	68億円	273億円

※過去5期分の財務データが把握できないお客様については、「全与信先」のみに含めています。そのため合計数字は一致しません。

### ライフステージに応じた当行支援内容



「創業期」から成長・安定に向けた支援、「低迷期」「再生期」から再成長へ向けた支援など、お取引先のライフステージに応じた様々なソリューションの提供に努めてまいります。

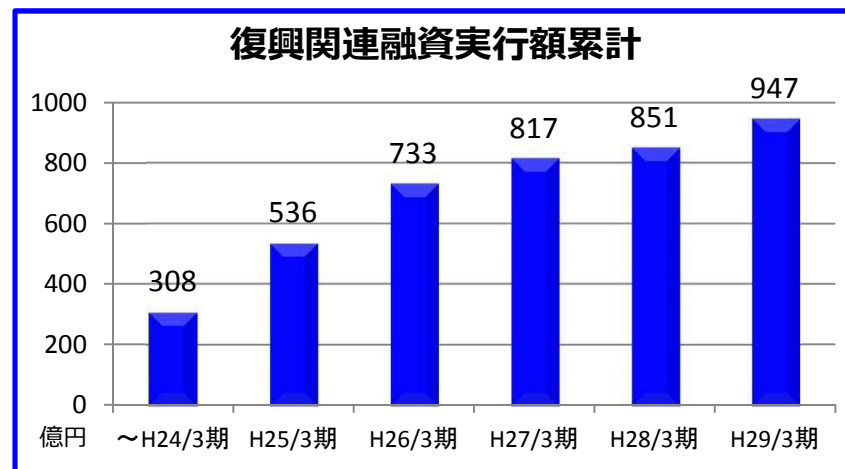
## 2.「復興」から「成長」へ向けた支援

### 「復興」から「成長」へ向けた取組み状況

当行では、震災以後、お客様の被害状況を把握し、リレーションを重視した、復旧・復興支援に努めてまいりました。現在も被災地支援のため、積極的な資金供給を継続しております。また、被災地だけでなく、経営指標改善へ向けた、本業支援の取組みについても強化しております。今後も、お客様の経営状況の改善、事業の成長を目指し、様々な金融サービスの提供を行ってまいります。

ベンチマーク (独自)		H27/3期	H28/3期	H29/3期
震災復興関連融資実行 先数及び融資実行額	先数	390先	187先	414先
	融資 実行額	84億円	34億円	97億円

当行では震災発生直後からお客様の復旧・復興支援に努めてまいりました。平成29年3月末までの復旧・復興関連融資実績は合計4,031件、947億円となっております。今後も、地域の復興へ向けた取組みを継続してまいります。



ベンチマーク (共通1)		H27/3期	H28/3期	H29/3期
当行がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、 経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数 及び経営指標が改善した先に対する融資残高	メイン先数	3,225先	3,179先	3,306先
	メイン先 融資残高	1,858億円	1,808億円	1,832億円
	経営指標 改善先数	1,905先	1,788先	1,946先
	経営指標改善先 融資残高	900億円	863億円	944億円

## 2.「復興」から「成長」へ向けた支援

### 経営改善へ向けた取組み状況

当行では、震災の影響等により融資のご返済に支障をきたしているお客様に対し、状況に応じて貸出条件変更を行うなど、経営改善支援に取り組んでまいりました。また、資金供給に関しましても、お客様のニーズに応じた形態での貸出に努めております。今後につきましても、お客様の事業再生、経営改善に向けた支援に積極的に取り組んでまいります。

ベンチマーク（共通2） H29/3期	条件変更総数	左記のうち 計画策定先	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	587先	168先	50先	81先	37先

ベンチマーク（選択42） H29/3期	先数	ベンチマーク（選択33） H29/3期	運転資金残高	短期融資残高	割合
REVIC、中小企業再生支援協議会の利用先数	13先	運転資金に占める短期融資の割合	1,917億円	603億円	31.5%

### 中小企業再生支援協議会を活用した建設業のお客様の支援事例

本事例のお客様は、業歴40年超の鉄骨工事業を営む事業者です。鉄骨加工需要の低迷や単価の減少が続いていたことから、その現状を打開しようと新規事業に着手したものの、思うように進まず財政基盤が大きく毀損することとなり、更に本業である鉄骨工事の売上も大きく減少する状況となりました。その結果、金融機関からの借入金についても約定返済を継続することが困難となり、債権者間調整も必要であることから協議会へ相談を行いました。現在、協議会の関与のもと経営改善計画書を策定し、専門コンサルタントの指導を受け、改善に取り組んでいるところであります。

条件変更等による経営改善支援のほか、運転資金については「短期継続融資」の導入による資金繰りの円滑化にも取り組んでおります。最適な形態での資金供給を行うことで、お客様の成長を支援いたします。

### 3.地域産業・企業の活性化支援

#### 農林水産業を中心とした、アグリビジネス関連事業への取組み

当行では、地域の特性である農林水産業を基軸とした、アグリ関連業種への支援に積極的に取り組んでおります。アグリビジネス関連ファンドの活用や、6次産業化支援等、地域産業の創出、成長へ向けた支援に取り組むことで、新たな資金需要を創りだし、地域経済の発展に寄与してまいります。

ベンチマーク（独自）	H28/3期	H29/3期	ベンチマーク（独自） H29/3期	件数
アグリ関連業種（16業種）融資残高	254億円	279億円	アグリビジネス関連の本業支援件数	365件

アグリ関連業種（16業種）とは…農業、林業、漁業の1次産業を始め、水産加工業や食料品製造業等の2次産業及びそれらを商品として扱う魚菜卸売市場、総合食料品卸売業等の3次産業等、当行が独自に定めたアグリに関連する合計16業種。

#### アグリ関連業種への当行支援例

##### 金融支援

- ・とうぎんアグリビジネス応援ファンド
- ・とうぎん農業ローンアグリビジョン
- ・とうほくのみらい応援ファンド など

##### 本業支援

- ・6次産業化支援
- ・ビジネスマッチング（販路拡大等）
- ・商談会、マルシェの開催 など

##### 各種セミナー等

- ・とうぎんAFFクラブ  
（当行取引先の農林水産業関連のお客様で構成され、会員同士の情報交換、ビジネスマッチング等を目的とするクラブ）
- ・アグリセミナーの開催 など

アグリビジネス関連の本業支援件数は365件の実績となりました。今後は支援内容の深化を図り、支援の質の向上に取り組んでまいります。

アグリ関連業種融資残高についても順調な推移を示しております。今後も地域産業への取組みを強化してまいります。

### 3.地域産業・企業の活性化支援

#### 創業・新規事業支援への取り組み

当行では、地域経済の持続的成長に向けて、創業期の企業への円滑な資金供給に加え、事業計画策定支援や各種公的支援の情報提供等を行っております。

ベンチマーク（共通3） H29/3期	件数
金融機関が関与した創業件数	64件

ベンチマーク（選択16） H29/3期	先数
創業計画の策定支援	12先
創業期の取引先への融資（プロパー）	18先
創業期の取引先への融資（信用保証協会付き）	24先
政府系金融機関や創業支援機関の紹介	6先
ベンチャー企業への助成金・融資・投資	0先

平成28年度には64件の創業支援を行いました。創業へ向けた資金供給以外にも、各支店にて「岩手県よろず支援拠点」と連携した合同相談会の開催や創業計画の策定サポート、外部支援機関の紹介等、様々な支援を積極的に行っております。今後も地域経済の発展のため、創業支援を強化してまいります。

#### 社長の道場

当行では、若手経営者・後継経営者の方々を対象に、経営計画の策定や組織作り、人材育成等をテーマにしたセミナー「社長の道場」を開催しております。平成29年2月に開催した「社長の道場」では、「集客」、「財務」、「事業承継」の3つのテーマで分科会を設定し、参加者の課題に応じた分科会において、参加者同士でディスカッションや課題共有することを通じ、参加者の横のつながりを醸成する内容となりました。今後も、ニーズの高いテーマを設定し、継続的に開催してまいります。



---

---

**<本件に関するお問い合わせ先>**

株式会社東北銀行 経営企画部

TEL 019-651-6161

FAX 019-653-1291

URL <http://www.tohoku-bank.co.jp/>

